



東部地区社協だより

発行 佐倉東部地区社会福祉協議会
会長 小玉 克哉
事務局 月・木 10時~15時
TEL:043-484-6033 FAX:043-486-2518
toubusakura@yahoo.co.jp

平成27年度 敬老会を終えて

今年も612名（佐倉小172名、佐倉東小252名、白銀小188名）という大勢の方々のご参加を頂き感謝申し上げます。益々、高齢化が進む中での敬老会がどうあるべきなのか、福祉委員一同反省を繰り返し、検討を重ねてやっております。そして、皆様の要望に答えられるよう努力、改善してきておりますが、まだまだ至らないところが多くあることと思います。

少しでも多くの方が参加できるよう、3ヶ所（3小学校）で行っておりますがそれぞれ特徴があり、問題が出ております。

皆様にいつまでも健康で元気に過ごして頂けるようにいろんな取り組みが行われている中で、敬老会に参加して頂く以上楽しい『集い』でなければ意味がないのではないか、といろいろ知恵を出し合い進めておりますので、今後とも皆様のご協力、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

佐倉東部地区社会福祉協議会 小玉克哉

白銀小学校会場

白銀小学校を会場とした敬老の集いは9月5日に開催されました。小学校はこの日を登校日として、生徒全員で集いを支えてくれ、司会進行は佐倉東中学校の生徒さんが行うなど、若い力に包まれた集いとなりました。

市長挨拶から長寿の方々への花束贈呈、そしてふるさと体操で体を動かしました。学芸発表は白銀小学校の生徒さんの合唱、佐倉東中学校吹奏楽部の生徒さんの演奏を鑑賞し、「故郷」や「もみじ」などをみんなで歌いました。

ラストは恒例の抽選会でみんなでワクワク、ドキドキのひと時を共有しました。また来年も皆さんのお元気な笑顔と再会できますように。



佐倉小学校会場

9月12日（土）佐倉小での「敬老の集い」には、172人の方々にご参加いただきました。会場の白いテーブルクロスの上には、おひとりごとにお菓子、お茶、履物の折り紙を並べてお迎えしました。

東部地区社協会長、佐倉市長、来賓挨拶・紹介に始まり、90歳以上高齢者に花束の贈呈、包括支援センター職員によるふるさと体操、佐倉小児童の「エーデルワイス」「もみじ」などの合唱、消防組合消防音楽隊の「星条旗よ永遠なれ」「花は咲く」「ふるさと」など吹奏楽演奏と火災報知器設置の話、そして、お楽しみ抽選会と、あっという間に2時間が過ぎてしまいました。

参加いただいた方々の感想を集約すると、「お祝いとともに楽しいひとときをありがとうございました。来年も参加したい。」とのことでした。



佐倉東小学校会場

佐倉東小区域の敬老会は、9月12日の役割分担会議から始まり、18日の事前準備作業、19日に本番を迎えた。前日からの雨も止み曇り空ではあったが、出足好調で270の席は、早々満席となり、立ち見も出るほどに。

小玉会長の開式挨拶の後、君が代斎唱。久しぶりの君が代に心にこみ上げるものを感じ、日本人であることを再認識。ご来賓代表で佐倉東小学校日暮校長先生のご挨拶を頂き、90歳以上の高齢者紹介で第一部式典終了。

第二部は佐倉東小児童達の合唱から始まった。懐かしい歌の数々、皆さん楽しそうに口ずさんでおられた。その後、佐倉シャルマン ウィンド オーケストラの吹奏楽演奏と続いた。民謡等も多く演奏され、皆さん懐かしく故郷を偲ばれたことと思う。途中、蕨和雄市長が来場され、祝辞を頂いた。

第三部の大抽選会で終了した。

◎参加者の声

児童達の合唱選曲が良かった。自分の子供時代を思い出し、涙が出ました。



音楽の力は偉大だ! 第6回ふれあいコンサート

11月7日(土)佐倉市美術館ホールで「障害のある人もない人もみんなで楽しむコンサート」が開催されました。

毎年恒例のキタムラナオコさんの歌、田島拓さんのギターでコンサートは始まりました。障害のある方のハーモニークラブの演奏は、滝口先生のご指導の下、日ごろの練習の成果が見事に発揮されました。

「あい」さんによるドראえもんの手話ダンスでは会場から歌声も聞こえました。平野あゆみさんはピアノで情感豊かに演奏し、宮武さんのテノールでは本格歌唱に酔いしました。ボディパーカッションでは、講師の動きに合わせてユニークな動きや拍手の「合唱」など、会場が一体となって音楽を奏しました。木ようの家の皆さん元気いっぱいの歌とダンスで、会場も巻き込んで大盛り上がりのうちにコンサートを終えました。

あっという間の2時間でした。来年もお会いしましょう♪



バス研修 常盤平団地地区社協・重要文化財戸定邸見学

常盤平団地は14年前に団地内で相次いで発見された孤独死をきっかけに、団地地区社協と自治会が共同し、「孤独死ゼロ」を目標として取り組みを行ってきたことで有名です。

10月25日(日)、松戸市常盤平市民センターで、「孤独死ゼロ作戦」に取り組んでこられた自治会長の中沢卓実さんのお話を伺いました。

孤独死の現場写真を収めたファイルを見ながら、孤独死について様々なお話を伺いました。孤独死は、家族や友人もなく、地域との繋がりも希薄な人が陥りやすく、防止策としては、孤立しないような環境を作り、見守っていくことが必要だそうです。

常盤平団地では仲間作りの拠点として、地域の人が気軽に集まれるサロンを毎日開催しています。(年末年始を除く)

参加者の中には地域で孤独死に遭遇された方もいらっしゃいました。中沢さんは孤独死を防ぐためには生きている時に挨拶を通じ、人と人との繋がりを保つようにすることが大事と語っておられました。



ボランティア紹介 イルカの会



イルカの会は、平成24年に発足した学習支援ボランティアグループです。おもに低所得世帯やひとり親世帯などの小学生～中学3年生までの子供たち、約25名に勉強を教えています。大蛇住宅集会所、ミレニアムセンター、志津公民館で、17:00～20:00まで活動しています。登録しているスタッフは地域住民のほか、順天堂大学や東京成徳大学の学生も参加しています。

勉強を教える、というと大変ですが、子どもたちが勉強する場や機会の提供を目的に、時にわからないところと一緒に考えたり、やる気を励ましたりしながら、子どもたちの学びをサポートしています。子どもたちの学習への取り組みは様々ですが、欠かさずやってくるということはここが「居場所」になりつつあるということでしょうか。

少しでも関心のある方、ぜひ一度活動を見学してみませんか。ご連絡をお待ちしております。

<連絡先> 飯田 090-5443-9007

第4回佐倉東部 ふれあいまつり

日時：12月6日(日) 10時～13時
場所：佐倉東小学校 グラウンド・体育館



自分の町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金

14,730円集まりました。
ご協力ありがとうございました。

